

「新宿の森」 植林大作戦

自治体情報

人口 314,587人

標準財政規模 179,500,000千円

担当課 東京都 新宿区 環境清掃部環境対策課

電話 03-5273-3763

ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策

関係施策分類 ⑤

施策の概要

1 取り組みに至る背景

新宿区では、平成18年2月に「新宿区省エネルギー環境指針」を策定し、区内の温室効果ガス排出量を平成22年度（2010）に2年度（1990）比+5%まで削減する目標を定めた。目標達成に向けて、区民や事業者の省エネルギーの取組みや、新エネルギー等の導入の促進・支援を進めるとともに、区も率先して温室効果ガスの削減に取り組んでいる。しかし、平成17年度（2005）+15.6%、18年度（2006）+10.3%（23区共通標準算定手法）と目標の達成は厳しい状況であり、区民・事業者・区の協働によるより実効性の高い取組みを推進する必要がある。

2 事業内容（目的・目標・方策）

区内の家庭や事業所におけるCO₂排出量削減に取り組む「ストップ温暖化 新宿大作戦！！」や「みどりのカーテン」プロジェクト、ライトダウンキャンペーン、新宿打ち水大作戦、レジ袋・紙袋を辞退してポイントを貯める「新宿エコ自慢ポイント」等の地球温暖化防止活動に参加する区民・事業者が、区外の「新宿の森」への植林活動にも参加することで、カーボンオフセットを推進することを目的とする。「新宿の森」は、新宿の水源を守ることも目的として、利根川・多摩川流域に開設する。

3 施策の開始前に想定した事業効果

区民・事業者の家庭や事業所におけるCO₂削減の取組みを活性化し、その成果を見える化していくことで、更なる意識と実践行動の向上を促進する。

都市部と地方の住民・事業者・自治体間の連携により、「新宿の森」植林活動を森林保全のみならず、ネイチャーゲーム、キャンプ、川遊び等、様々な自然体験学習プログラムと組合わせて、レクリエーション性も兼ね備えたインセンティブ効果の高いイベントとし、地球環境保全の取組みの普及とともに、現地における地域交流を通じて産業振興につなげていく。

4 導入にあたり工夫・苦勞した点、課題、対処法など

植林活動への参加方法について、上記の他にも様々な環境保全活動に参加する区民・事業者をはじめ、一人でも多くの人に「ストップ温暖化 新宿大作戦！！」の実行部隊「新宿エコ隊」に登録してもらい、その中から実際に「新宿の森」に行って自ら植樹をしてもらうために、効果的なPRが必要である。また、実際に「新宿の森」には行かなくても、「新宿エコ自慢ポイント」のポイント数に応じて苗木を寄附するような形で間接的に植林活動に参加する仕組みも必要である。「新宿の森」の設定については、区民・事業者の意見も聴きながら、新宿の水源である利根川流域や多摩地区等において複数箇所選定し、植林者が選択できるようにする。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

22年度からの植林開始に向け、「ストップ温暖化 新宿大作戦！！」への参加呼びかけを強化するとともに、「新宿エコ自慢ポイント」のポイント対象行動拡大の検討、植林地の選定、植林イベントの準備等、作業中。

予算関連データ 新宿区

平成21年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
8,000千円		0千円	3,000千円	0千円	0千円	5,000千円
①～④の名称・所管等	名称		東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助制度			/
	所管		東京都環境局環境政策部環境政策課			
	金額					
	補助率		1/5			